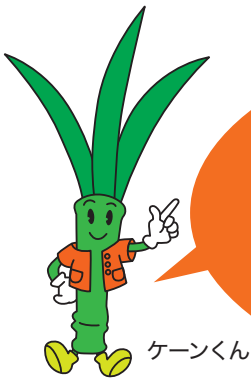


はるのおうぎ (KY10-1380)

萌芽性に極めて優れ株出し多収

- 萌芽性、分けつ性に優れ、種子島においてはNiF8より安定して多収です。
- 登熟が早く、早期収穫に対応できます。
- 耐倒伏性が強いいため機械収穫に適するとともに、機械収穫後の株出し萌芽性にも優れます。



はるのおうぎは令和元年に
鹿児島県種子島(熊毛地域)向け、
令和2年に
鹿児島県大島地域向け
の奨励品種に採用されました。

■ 主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	耐倒伏性	脱葉性
はるのおうぎ	良	強	極良	無又は極少	強	強	難
NiF8	良	中	中	多	強	やや強	易
Ni22	良	やや強	やや良	無又は極少	強	やや強	中

■ 病虫害抵抗性

	黒穂病	さび病類	モザイク病	メイチュウ抵抗性
はるのおうぎ	弱	強(※)	強	中
NiF8	強	強	強	中
Ni22	中	やや強	やや強	中

※種子島でさび病の発生が確認されています。



写真：農研機構から提供

栽培上のワンポイント

- 萌芽性に優れるため、株出し栽培での安定した収量の確保が期待できます。
- 脱葉性が極めて悪く、茎数も非常に多いことから、手刈りでの収穫は困難です。
- 黒穂病抵抗性に劣るため、適切な採苗圃の設置、苗消毒、発病確認時の罹病株の抜き取りなどに努めてください。



協力：農研機構